

令和5年7月19日
気象庁情報基盤部

気象衛星観測月報の提供再開について
(令和4年8月19日付お知らせ関連)

収録しているデータに一部不具合があったため、平成27(2015)年7月から令和4(2022)年5月までの気象衛星観測月報の提供を一時停止しておりましたが、データの再作成が完了しましたので、提供を再開いたします。

なお、令和4年8月19日以前に提供していただきました気象衛星観測月報について、提供済のDVDの交換は行いませんので、別紙の留意点を踏まえてご利用をお願いいたします。

利用者の皆様にご迷惑をおかけしておりますこととお詫びいたします。

○ データ利用上の留意点（令和4年8月19日以前に提供したDVDの場合）

令和4年8月19日以前に提供していましたが平成27(2015)年7月から令和4(2022)年5月までの気象衛星観測月報に収録しております雲量格子点データ（改良型雲量格子点情報）についてのデータの利用上の留意点については、以下のとおりです。

本日以降に提供されるDVDでは、これらの不具合は修正されています。

「全雲量」がゼロ（0%）の格子について、「上層雲量」、「対流雲量」、「雲型」、「雲頂高度」にゼロ以外の値が格納されている場合は、それらをゼロ（無し）として扱うことで、正しくご利用になることができます。

一方、「全雲量」がゼロ（0%）以外の格子については、「全雲量」が「上層雲量」と「対流雲量」の和よりも小さくなっている場合は不具合が生じている格子として判別することはできますが、それ以外の場合においても「上層雲量」等に正しい値が格納されているとは限らず、また、それらの正しい値を確認することもできません。

しかしながら、雲量格子点データ（改良型雲量格子点情報）は、高分解能雲情報の南北2601格子×東西3301格子のデータから南北261格子×東西265格子の情報に変換して作成しており、また、高分解能雲情報における不具合格子の発生割合が0.1～1%程度であることから、本来の正しいデータとの差は比較的小さいと考えられます。

なお、「全雲量」については、不具合はございません。

不具合の詳細については、令和4年8月19日気象庁情報基盤部発「配信資料に関するお知らせ ～気象衛星関連プロダクトの一部不具合について～」の3.(2)改良型雲量格子点情報もご確認ください。

<https://www.data.jma.go.jp/suishin/oshirase/pdf/20220819.pdf>

（参考：「雲頂高度」の一例）

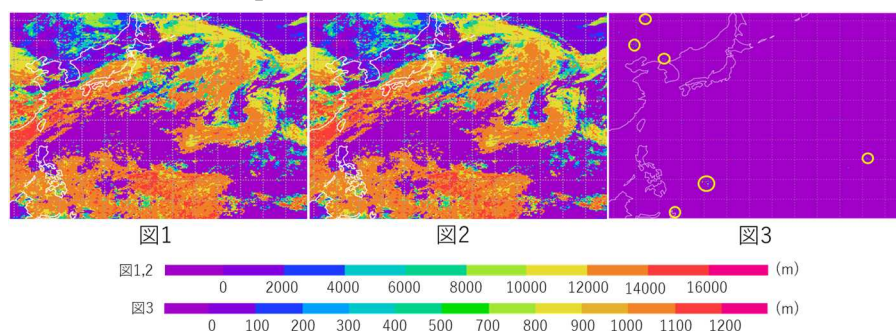


図1：本来の雲頂高度（不具合なし）、図2：収録されている雲頂高度（不具合あり）、
図3：差分（（不具合なし）－（不具合あり））

※図3の黄色い枠囲みは、差が生じている主な部分。